

重点1 毎日の授業の充実

2 学びの一体化

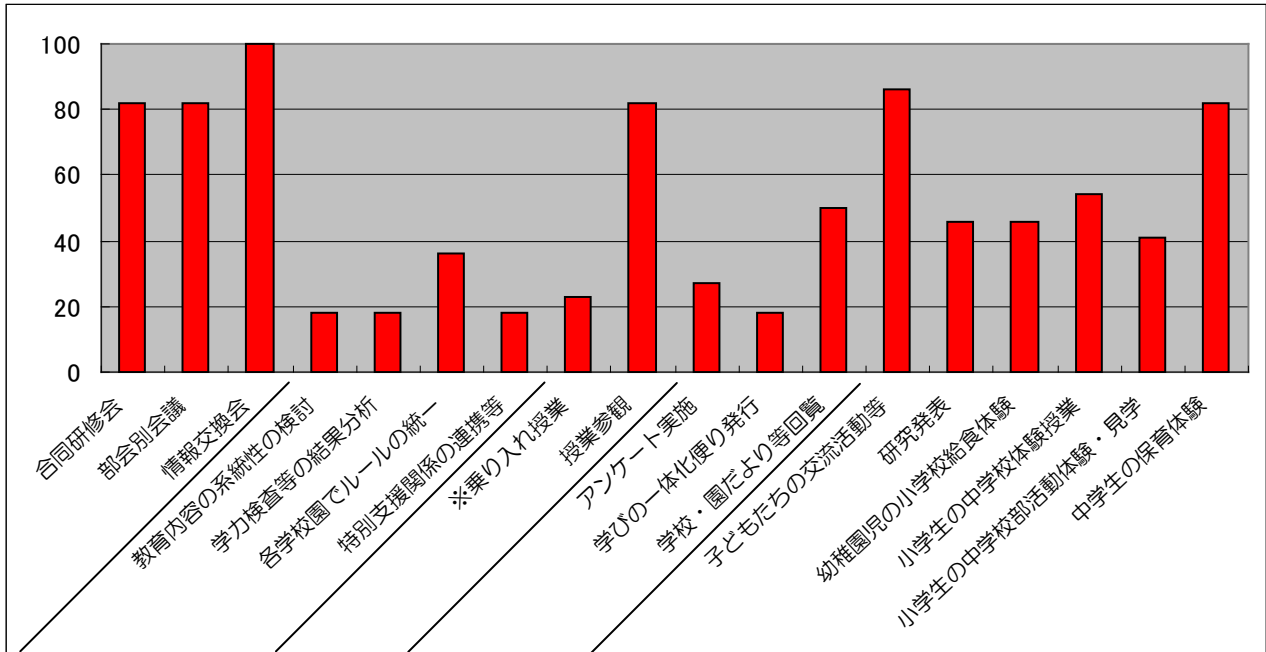
ねらい

「学びの一体化」とは、幼稚園・保育園・小学校・中学校が連携・協働して子どもの教育に携わり、子どもたちの「確かな学力の向上」と「心身の健やかな成長」をめざす取組です。

本市では、学びの一体化により、各学校園の区切りはそのまま大切にしながらも連携を深め、11年間の教育に「見通し」と「責任」を持つ教育の充実を図っていきます。

現状と課題

○ 平成21年度の各中学校区の活動 <22中学校区における各活動の取組の割合（%）>



※乗り入れ授業・・・中学校教員が小学校で行う授業

平成18年度から市内全中学校区において開始されて以来、子どもの実態等の情報交換や教員の相互交流などが進みましたが、次のような課題が明らかになってきました。

- (1) 学校現場の多忙化により、活動時間の捻出や調整に苦慮し、ダイナミックな活動ができない現状があります。
- (2) 校区の各学校園の研究の方向性がそろわず、校区で一貫性のある取組となっていない現状があります。
- (3) 喫緊の教育課題が山積する昨今の学校の現状もあって、「学びの一体化」の有用性を実感しにくい状況があります。

今後の方向性

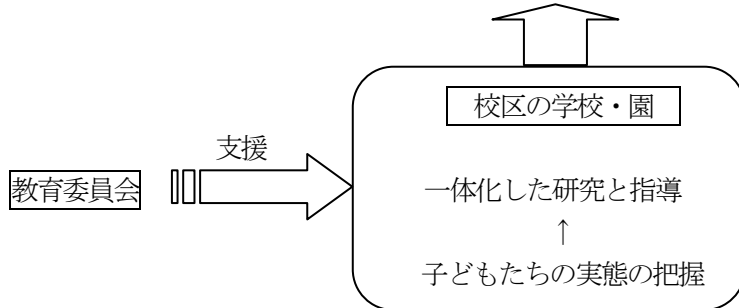
平成21年3月、「学びの一体化推進協議会」から新しい取組が提言されました。平成22年度からは、一部の中学校区で、この新しい取組を先行実施します。

主な取組状況

○ 平成22年度から始める新しい取組

1 幼稚園・保育園・小・中学校が研究課題と指導体制を一体化させて連携を深めます。

【期待される効果】①段差のない教育の実現 ②授業の改善



【学び合う子どもたち】

2 中学校との連携を生かした小学校高学年における一部教科担任制を導入します。

【期待される効果】

- ① 中学校生活へのスムーズな移行
- ② 多くの教員に見守られた教育
- ③ 中学校教員による学びへの刺激



【協働による授業風景】

↑

- ☆ 小学校高学年の教科担任制
  - ・教科の一部を、担任以外の教員が担当します。
- ☆ 中学校との連携
  - ・小・中学校教員の協働による授業を実施します。

○ 平成21年度 小学校における教科担任制の状況

教科 学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国語 活動
1学年	3校		0		0	6校	1校		1校	0
2学年	10校		0		0	14校	6校		1校	0
3学年	14校	0	0	0		30校	13校		0	0
4学年	13校	0	0	3校		30校	19校		1校	0
5学年	10校	1校	0	5校		30校	14校	25校	1校	0
6学年	12校	0	0	9校		30校	12校	29校	1校	0

※ ここでの教科担任制とは、学校として一部の教科について、教員の得意分野を生かして、年間を通じてある学年の全学級を対象に実施している場合をさします。なお、国語は、ほとんどが書写での実施です。